



# IWATE BANK NEWS LETTER



平成26年12月1日

株式会社 岩手銀行

## 東日本大震災復興・成長支援ファンドの組成について

株式会社岩手銀行（頭取：田口幸雄、以下「当行」という。）は、株式会社日本政策投資銀行（社長：橋本徹、以下「DBJ」という。）および株式会社地域経済活性化支援機構（社長：瀬谷俊雄、以下「REVIC」という。）と共同で、東日本大震災による被災地域の復興と成長を支援するため、いわて復興・成長支援ファンドを組成することを決定しました。

当行およびDBJは、平成23年8月に東日本大震災復興ファンドを設立し、被災企業の早期復旧・復興支援を行ってきました。今般、震災復興の段階が生産設備の回復等といった復旧段階から、生産を再開した企業の販路新規開拓、複数企業の協働による産業競争力強化、インフラ整備・機能強化等の復興・成長段階へと移行しつつあることに対応して、REVICとも連携した復興・成長支援ファンドを新たに設立することとしました。

新ファンドは、被災地域の復興・成長に資する事業を行う企業（他地域からの進出企業や新設企業も含む）に対して、劣後ローンや優先株等を活用したリスクマネーを提供することで、全国のモデルとなる先進的な取り組みを促進し、地域の成長と活性化を支援します。ファンド総額は当初50億円としていますが、投融資の進捗に応じて最大100億円までの規模拡大も視野に入れていきます。

当行、DBJおよびREVICは、本ファンドを通じたリスクマネーの供給に加えて、当行およびDBJの持つネットワークやノウハウを活用したビジネスマッチングや事業化支援、またREVICの持つ専門家派遣機能を活用した経営支援等にも注力し、企業と被災地域の復興・成長支援に取り組んでまいります。

### 〔ファンドの概要〕

- |            |  |
|------------|--|
| (1) 名称     | いわて復興・成長支援投資事業有限責任組合   |
| (2) 設立予定日  | 平成26年12月8日   |
| (3) ファンド規模 | 当初50億円（ただし組合員の同意の下に100億円まで増額可能）                              |
| (4) 出資者    | 無限責任組合員（GP）：(株)東北復興パートナーズ<br>有限責任組合員（LP）：当行、DBJ、REVIC        |
| (5) 期間     | 投資期間5年、存続期間7年4ヶ月（但し、必要があれば、投資期間で2年以内、存続期間で1年以内の延長を行うこともあります） |

**岩手銀行**



# IWATE BANK NEWS LETTER

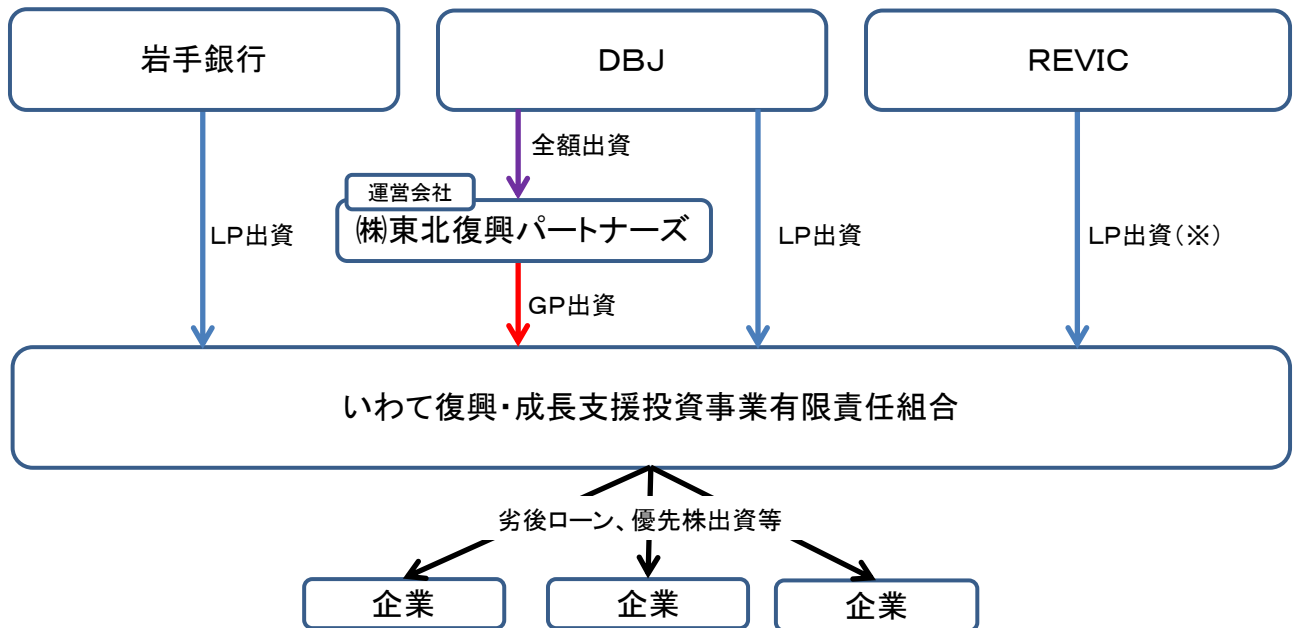


信頼の、さらにその先へ。

## 〔運営会社の概要〕

- (1) 名称 株式会社東北復興パートナーズ
- (2) 資本金 1百万円
- (3) 株主 DBJ (100%)
- (4) 本社所在地 宮城県仙台市
- (5) 代表取締役 恩田恭良 (DBJ東北支店)

## 〔ファンドのスキーム図〕



(※)平成26年10月14日に施行された改正株式会社地域経済活性化支援機構法により、REVICにおいて新規業務として開始された特定組合出資業務(ファンド出資業務)。

<本件に関するお問い合わせ先>

岩手銀行営業統括部：石川 TEL019-624-8667

